



2025年10月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年6月6日

上場会社名 クミアイ化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4996 URL https://www.kumiai-chem.co.jp
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 横山 優
 問合せ先責任者（役職名） 総務部長（氏名） 山田幸司（TEL）03-3822-5036
 半期報告書提出予定日 2025年6月12日 配当支払開始予定日 2025年7月9日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2025年10月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年11月1日～2025年4月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年10月期中間期	96,177	9.2	9,442	6.9	8,291	△36.2	6,274	△32.7
2024年10月期中間期	88,100	△7.7	8,830	△30.3	12,990	△3.8	9,322	△9.0

（注）包括利益 2025年10月期中間期 6,036百万円（△57.1%） 2024年10月期中間期 14,060百万円（6.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期中間期	52.11	—
2024年10月期中間期	77.47	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年10月期中間期	268,534	156,104	55.5
2024年10月期	275,474	152,941	53.0

（参考）自己資本 2025年10月期中間期 149,098百万円 2024年10月期 145,917百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	10.00	—	24.00	34.00
2025年10月期	—	10.00			
2025年10月期（予想）			—	24.00	34.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年10月期の連結業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	159,300	△1.1	10,400	△8.4	14,500	△20.8	10,900	△19.8	90.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年10月期中間期	133,184,612株	2024年10月期	133,184,612株
② 期末自己株式数	2025年10月期中間期	12,759,931株	2024年10月期	12,810,323株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年10月期中間期	120,390,433株	2024年10月期中間期	120,341,812株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について）

決算補足説明資料につきましては、2025年6月6日（金）に、当社コーポレートサイトに掲載する予定です。また、当社は、2025年6月19日（木）に、機関投資家・証券アナリスト向けの決算説明会を実施する予定です。この説明会で使用する決算説明資料につきましては、開催後当社コーポレートサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復が続いているものの、食料品の価格高騰等を背景とした個人消費の鈍化などにより、一部に足踏みもみられています。

一方で、米国トランプ政権が打ち出した関税政策や、それに伴う米国の景気減速、米中対立の激化の可能性等により、先行きは依然として不透明な状況が続くことが予想されます。

このような情勢の下、当社グループにおきましては、2024年10月期を初年度とする中期経営計画「Create the Future ～できる。をひろげる～」を策定し、企業価値の向上に向けた重点施策の遂行に全力で取り組んでおります。

当中間連結会計期間の売上高は、いずれのセグメントも前年を上回ったことから、96,177百万円、前年同期比8,077百万円(9.2%)の増加となりました。営業利益は、9,442百万円、前年同期比612百万円(6.9%)の増加となりました。経常利益は、為替差益を計上した前年から一転して大きな為替差損を計上したことにより8,291百万円、前年同期比4,699百万円(36.2%)の減少となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、6,274百万円、前年同期比3,048百万円(32.7%)の減少となりました。また、海外向け売上高の割合は53.9%となりました。

セグメントの概況につきましては以下のとおりです。

セグメント	2024年10月期 中間期			2025年10月期 中間期			前年同期比	
	売上高	売上高 構成比	営業利益	売上高	売上高 構成比	営業利益	売上高 (増減率 %)	営業利益 (増減率 %)
農薬及び 農業関連事業	百万円 72,306	% 82.1	百万円 8,667	百万円 78,432	% 81.6	百万円 9,104	百万円 6,126 (8.5)	百万円 437 (5.0)
化成品事業	11,642	13.2	367	12,501	13.0	822	859 (7.4)	455 (124.2)
その他	4,152	4.7	647	5,244	5.5	535	1,091 (26.3)	△112 (△17.3)
計	88,100	100.0	8,830	96,177	100.0	9,442	8,077 (9.2)	612 (6.9)

(注) 1. 前中間連結会計期間のセグメントの営業利益には、調整額として主に各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない一般管理費)850百万円が含まれております。

2. 当中間連結会計期間のセグメントの営業利益には、調整額として主に各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない一般管理費)1,019百万円が含まれております。

① 農薬及び農業関連事業

国内向けは、殺菌剤「ディザルタ」を含む水稲用箱処理剤、除草剤「エフィーダ」を含む水稲用除草剤の販売が好調に推移したことなどから、前年同期を上回りました。

海外向けは、除草剤「アクシーブ」においてアルゼンチン向け出荷が減少した一方、米国向けはトランプ関税を懸念した出荷時期の変更により出荷増となりました。また、オーストラリア向けは特許侵害品に対する法対応が奏功して出荷が増加し、ブラジル向けも販売促進の強化により出荷が増加しました。

以上の結果、農薬及び農業関連事業の売上高は78,432百万円、前年同期比6,126百万円(8.5%)の増加となりました。営業利益は9,104百万円、前年同期比437百万円(5.0%)の増加となりました。

② 化成品事業

生成AIサーバー向け電子材料分野の需要が好調に推移し、ビスマレイミド類の出荷が増加したことに加え、アミン類の出荷も堅調に推移しました。

以上の結果、化成品事業の売上高は12,501百万円、前年同期比859百万円(7.4%)の増加となりました。営業利益は822百万円、前年同期比455百万円(124.2%)の増加となりました。

③ その他

建設業における新規工事の順調な受注等により、その他全体の売上高は5,244百万円、前年同期比1,091百万円(26.3%)の増加となりましたが、営業利益は535百万円、前年同期比112百万円(17.3%)の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間の総資産は268,534百万円で、前連結会計年度末に比べ6,939百万円の減少となりました。これは主に、商品及び製品の減少が受取手形、売掛金及び契約資産の増加を上回ったこと等によるものです。

負債は112,430百万円で、前連結会計年度末に比べ10,102百万円の減少となりました。これは主に未払金ならびに支払手形及び買掛金が減少したこと等によるものです。

純資産は156,104百万円で、前連結会計年度末に比べ3,162百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものです。

自己資本比率は55.5%、1株当たり純資産は1,238円10銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月期の第2四半期(中間期)連結累計期間の業績予想は、2024年10月期の決算発表時(2024年12月13日)に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、2025年6月3日に公表いたしました「2025年10月期第2四半期(中間期)連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当中間連結会計期間 (2025年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,404	24,747
受取手形、売掛金及び契約資産	45,730	55,263
商品及び製品	75,076	60,080
仕掛品	15,451	18,890
原材料及び貯蔵品	9,648	9,252
その他	5,276	2,202
貸倒引当金	△232	△24
流動資産合計	178,355	170,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,005	22,971
機械装置及び運搬具(純額)	10,744	11,394
土地	12,416	12,575
建設仮勘定	3,571	3,515
その他(純額)	2,470	2,396
有形固定資産合計	52,205	52,851
無形固定資産		
のれん	2,095	1,763
その他	1,146	1,013
無形固定資産合計	3,241	2,777
投資その他の資産		
投資有価証券	38,691	39,291
長期貸付金	512	554
繰延税金資産	1,164	1,206
退職給付に係る資産	61	49
その他	1,593	1,780
貸倒引当金	△348	△383
投資その他の資産合計	41,673	42,497
固定資産合計	97,119	98,125
資産合計	275,474	268,534

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当中間連結会計期間 (2025年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,610	22,317
短期借入金	55,010	55,066
未払金	10,243	4,263
未払法人税等	886	2,162
賞与引当金	1,798	1,395
環境対策引当金	113	84
その他	2,360	1,820
流動負債合計	96,021	87,107
固定負債		
長期借入金	19,252	18,315
繰延税金負債	1,685	1,628
役員退職慰労引当金	442	419
退職給付に係る負債	4,107	4,076
資産除去債務	44	44
その他	982	842
固定負債合計	26,511	25,324
負債合計	122,532	112,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,534	4,534
資本剰余金	37,491	37,502
利益剰余金	110,107	113,492
自己株式	△9,221	△9,183
株主資本合計	142,912	146,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,629	1,482
為替換算調整勘定	1,317	1,214
退職給付に係る調整累計額	60	57
その他の包括利益累計額合計	3,006	2,753
非支配株主持分	7,024	7,006
純資産合計	152,941	156,104
負債純資産合計	275,474	268,534

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)
売上高	88,100	96,177
売上原価	67,971	75,379
売上総利益	20,129	20,798
販売費及び一般管理費	11,299	11,356
営業利益	8,830	9,442
営業外収益		
受取利息	82	67
受取配当金	92	96
貸倒引当金戻入額	8	208
持分法による投資利益	1,592	1,342
為替差益	2,385	—
その他	228	151
営業外収益合計	4,387	1,863
営業外費用		
支払利息	163	328
貸倒引当金繰入額	5	29
為替差損	—	2,621
その他	59	37
営業外費用合計	228	3,014
経常利益	12,990	8,291
特別利益		
固定資産処分益	9	6
投資有価証券売却益	—	36
補助金収入	4	1
受取保険金	1	221
特別利益合計	13	263
特別損失		
固定資産処分損	54	43
固定資産圧縮損	3	—
環境対策費	277	88
特別損失合計	334	131
税金等調整前中間純利益	12,669	8,423
法人税等	3,048	2,020
中間純利益	9,621	6,403
非支配株主に帰属する中間純利益	299	129
親会社株主に帰属する中間純利益	9,322	6,274

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)
中間純利益	9,621	6,403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	225	△151
為替換算調整勘定	356	△395
退職給付に係る調整額	16	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	3,841	181
その他の包括利益合計	4,439	△367
中間包括利益	14,060	6,036
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	13,644	6,021
非支配株主に係る中間包括利益	416	14

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

税金費用について、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注) 1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 3
	農業及び 農業関連 (百万円)	化成品 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	72,306	11,642	83,948	4,152	88,100	—	88,100
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	24	25	2,328	2,353	△2,353	—
計	72,307	11,665	83,972	6,481	90,453	△2,353	88,100
セグメント利益	8,667	367	9,034	647	9,680	△850	8,830

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、発電及び売電事業、建設業、印刷事業、物流事業、情報サービス事業、人材派遣事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△850百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注) 1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 3
	農業及び 農業関連 (百万円)	化成品 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	78,432	12,501	90,933	5,244	96,177	—	96,177
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	25	26	2,124	2,150	△2,150	—
計	78,434	12,526	90,959	7,367	98,327	△2,150	96,177
セグメント利益	9,104	822	9,926	535	10,461	△1,019	9,442

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、発電及び売電事業、建設業、印刷事業、物流事業、人材派遣事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,019百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。